



関西国際空港に、ベトジェットエアが日本初就航！

～ハノイ線を週7便運航。関西空港とベトナムを結ぶ便が合計週29便に～

関西エアポート株式会社は、ベトナム最大のLCC（格安航空会社）、ベトジェットエア（VJ）が関西国際空港に新規就航することをお知らせいたします。日本で初めての就航であり、2018年11月8日（木）から関西とハノイを週7便で結びます。

ベトジェットエアは、ベトナム・ハノイを拠点とし、ベトナム国内の主要路線はもとより、近年は国際線にも急速にネットワークを広げています。このたび、待望の日本への就航は、日本＝ベトナム間の旅客需要の高まりを受けて実現しました。ベトナムを訪れる日本人旅客数は近年順調に増加しており、2017年は過去最高の80万人に迫る79.8万人^{※1}を記録しています。ベトナムは経済成長が著しく、ビジネス渡航が増えているほか、ハノイ近郊のハロン湾やタンロン王城遺跡など世界遺産も多く登録されており、旅行先としても人気があります。また、日本を訪れるベトナム人の数も急増しており、2017年は前年比32.1%増の30万人^{※2}突破を達成しています。

関西＝ハノイ線は、ベトナム航空、ジェットスター・パシフィック航空に続き、ベトジェットエアが3社目の就航となります。同路線は現在週11便^{※3}が運航されており、今回の増便を加えると週18便に、ベトナム全体では週29便（ハノイ18便、ホーチミン7便、ダナン4便）に増加し、近年増加している東南アジア方面へのアクセスがますます充実します。

関西エアポート株式会社は、引き続きLCCを含む航空ネットワークの拡充を進め、お客様の利便性向上と快適で楽しい旅の体験を創造してまいります。

※1 ベトナム政府観光局 2017年統計

※2 日本政府観光局（JNTO）2017年統計

※3 2018年5月現在

○ 運航開始日

2018年11月8日（木）

○ 運航スケジュール

路線	便名	スケジュール（現地時間）	運航日
ハノイ	VJ938	ハノイ発（1:45）→関西着（7:50）	毎日
	VJ939	関西発（9:20）→ハノイ着（13:10）	毎日

※ 関係国政府の認可取得を条件とします。また、運航スケジュールは変更となる場合があります。

○ 機材仕様

型式：エアバス A320/A321

座席：A320 180席（エコノミークラス）

A321 230席（エコノミークラス）



画像提供：ベトジェットエア

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

企画・管理部 広報・ブランディングチーム

Tel：072-455-2201

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界38カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、36空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア、日本、ドミニカ共和国、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2017年の旅客者数は1億5,660万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万2,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017年の連結売上高は14億ユーロ、グループ全体の売上高は32億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構